

錦糸町駅前に大型看板掲出 新社名の認知・信頼度向上を目指す

広告主に聞く

<第16回>

アライプロバンス



新井太郎氏

「会社の強みは創業として昨年7月から新井」当社は、明 総合不動産に進出した治の頃から今日ま が、他社の猿まねではな で約120年にわ く、前例に拘わらず、大 たり、東京・錦糸 胆をのきたりでない独 町で事業を続けて 自ら追求している。さ いる。特に長年の らに旧社名・新井鉄工所 つ最大級となる錦糸町K Sビル5階の屋上しか無い 信頼と地脈・人脈 時代から、都心部おまひ と思つていた。ちょうど 空いてたこと、当社 の経営資源が大きい 都心近接部に広大な土地 が知り合ひだったので、 し、これを顧客に 今秋からスタートする」 屋外広告を掲出した 発信・提案し、開 狙い 当社は、第二 新井「新社名のアライ

「昨年7月、(株)新井鉄工所から社名を変更し、総合不動産カンパニ」 として第二創業のスタートを切った(株)アライプロバンス。「中期 経営計画(2021~2025年)」のブランドディング戦略の一環 として今年2月末、東京・錦糸町駅前に同社初の大型看板を掲出した。2年後に控える創業10周年に向け、0.01日歩を利用して 様々なプロモーションを予定している同社代表取締役専務・新井太 郎氏に話を聞いた。

「プロバンスの周知・認知は 重要なことだ。地元の発信す ることが最重要事項と考 えてきた。また大型看 板を掲出するならば、錦糸 町駅前で一番目立ち、か びる。特に長年の らに旧社名・新井鉄工所 つ最大級となる錦糸町K Sビル5階の屋上しか無い と思つていた。ちょうど 空いてたこと、当社 が知り合ひだったので、 タメに交渉したところ 今年2月末、大型看板を 掲出できた(契約期間は 10年間)。デザインは会 社の存在感をアピールす るため、シンプルにロゴ マークと社名のみで、新 しいブランドイメージを 告知したかったのが狙い。何をしたいか、会社 が、気になったらネット で検索してほしいという



錦糸町駅前の大型看板(葛西橋西詰ビル屋上の大型看板)

「思いもある」 新井「まずは多くの人に ちのアライプロバンスと いう社名を覚えてもらう ため、一定量の広告宣伝 費を掛けたいと思ってい る。しかし、当面の最大 目標は城東地区№1の総 合不動産カンパニー。テ レビCMや、サイネージ で画面が変わってしまう 媒体ではなく、静的で強 制視認性の高い地元の大 型看板を使うことで、当 社の認知度、信頼度を高 目録を上げないと見えな



錦糸町駅前の大型看板(葛西橋西詰ビル屋上の大型看板)

「めでたと思つている」 ーこのほか屋外 交通 広告事例 新井「3月上旬、葛西橋 西詰(江東区・東砂・葛 西橋通りの沿い)ビル屋上 に大型看板を掲出した。 これは、旧江戸川工場と 合不動産カンパニー。テ レビCMや、サイネージ で画面が変わってしまう 媒体ではなく、静的で強 制視認性の高い地元の大 型看板を使うことで、当 社の認知度、信頼度を高 目録を上げないと見えな

「良い場所に設置したか 好印象。複数の広告代 理店から、他の場所や、 トロ駅構内への掲出依頼 もあったが、当社は長期 間同じ場所に継続して掲 出できる屋外看板が良い と考えているので、現時 点で増設は考えていな い。江戸川工場跡地の土 地賃貸募集看板に関する 問い合わせもあり、物流 業界の浸透度も徐々に増 している」 ー今後は媒体化も検討 新井「当社が保有してい た工場跡地を再利用する ため、昨年から江戸川、 西葛西に法人向け駐車場 を整備、自社ブランドの PR看板を掲出してい る。中でも江戸川の駐車 場(縦1×横2.8 枚)は、縦1×横2.8 枚)を設置する予定。これ に、またマンションや商 業施設、ホテルといった 不動産開発事業に着手し たら、それぞれ施設の営 業促進看板も掲出してい きたい」 新井「今年10月末、千葉 県浦安市に当社第一弾の 大型事業・物流施設「ア ライプロバンス浦安」が 竣工する。外構デザイン に建築家の菅原大輔氏を 起用し、海の庭、四季 の庭、3つのコンセプトの中 庭を整備するほか、ホッ クス型バス待合所を敷地



10月末に竣工する同社物流施設「アライプロバンス浦安」をPRする看板を掲出している(千葉県浦安市港69番地)